

第 53 期 中間報告書

平成 22 年 3 月 1 日
～
平成 22 年 8 月 31 日

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、格別のご支援、ご高配を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、当社グループは平成22年8月31日をもちまして第2四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

経営の基本方針

当社グループは、「環境創造企業」をスローガンに掲げ、リサイクルを中心とした産業廃棄物中間処理を事業の中心として業容の拡大を図るとともに、「環境」を通して社会に貢献してまいりました。近年、世界的に環境に対する関心が高まり、わが国においても廃棄物問題に関する社会的注目が高まり、それとともに従来は陰に隠れがちであった産業廃棄物処理業界も社会的認知を受け、産業界をはじめとして各方面から大きな期待が寄せられる業界となってまいりました。当社は、平成7年に業界初の公開企業となり、産業廃棄物処理業界のリーダー的存在として、当社のみならず業界全体の社会的信頼性向上に努力してまいりました。今後もさらに各方面からの信頼を裏切ることなく、「環境」に貢献する企業として、株主の皆様、取引先の皆様をはじめとして、社会全体からの信頼と期待に応えられる経営を目指してまいります。

利益配分に関する基本方針

当社は、株主各位への安定的な利益還元を基本としたうえで、業績に対応した配当の実施並びに株主還元を最重要課題として考えております。従って、業績の推移、業界環境、配当性向を勘案し、あわせて経営基盤並びに企業体質の強化と中長期的な事業展開に備えるための内部留保の充実などを検討して、配当を決定する方針を採っております。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

配当性向（個別）に関しては20%以上を目処とし、業績の向上に伴う株主還元を増配または株式分割により実行してまいります。

中長期的な経営戦略

当社グループの事業の中心である環境部門は、産業廃棄物のリサイクルを中心とした産業廃棄物中間処理業を主体としております。わが国の産業廃棄物処理市場は、中小・零細企業の乱立する業界から、各種環境規制の強化と環境に関する社会的関心の高まりにより、適正でおかつリサイクル処理を主体とした企業に処理委託が集約化されていく動きが続いております。

当社グループは、多様化・複雑化する産業廃棄物の適正処理・リサイクル化のニーズに対処するため、技術力の向上、新設備の導入による処理・リサイクル可能品目の拡大、並びに積極的な設備投資と営業展開により、特に関東地区、関西地区の2つの大規模な市場を中心とした地域でのシェア上昇を目指し、業容拡大を図ってまいります。また、産業廃棄物中間処理のみにとどまらず、顧客の環境リスクに対するニーズに応えるため、特に子会社である株式会社ダイセキ環境ソリューションとの連携を密にし、土壌汚染調査・処理、環境分析、ゼロ・エミッション支援、処理装置の販売等の、企業の環境に対するトータル・プランナーとしての能力を高めることにより、グループとしての事業分野の拡大を図ってまいります。また、本年9月1日には、大型タンク清掃大手であるシステム機工株式会社を買収いたしました。今後も「環境」「リサイクル」をキーワードにM&A戦略も積極的に展開してまいります。こうした施策により、当社グループは「環境創造企業グループ」としてさらなる飛躍を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の概況

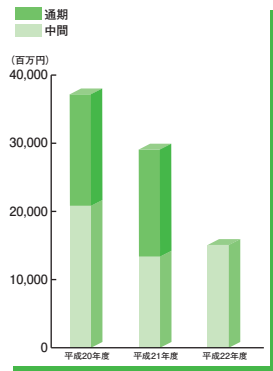
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復基調が続いたものの、円高・株安による景気の先行き不透明感が広がり、本格的な景気回復までは至らない状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である産業廃棄物中間処理・リサイクル事業におきましては、

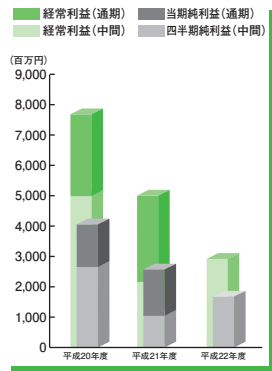
業績の推移

■ 連結

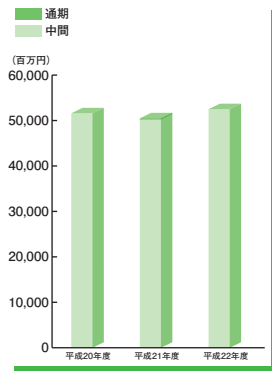
■ 売上高



■ 経常利益・四半期(当期)純利益



■ 総資産



株主の皆様へ

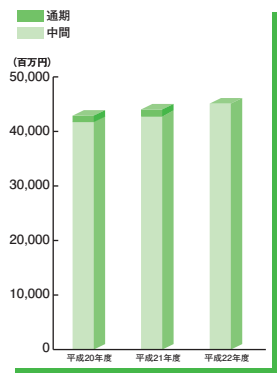
国内製造業の生産状況が回復するのに伴い、徐々に処理受託量が回復してまいりました。地域別においても、全地域で前年実績を上回り、第1四半期から引続き業績の回復傾向が見られました。

一方、当社グループ企業である土壤汚染の調査・分析・処理事業を行う株式会社ダイセキ環境ソリューションにおきましては、不動産・建設・設備投資といった土壤汚染ビジネスにつながる市場に回復の兆しが見られず、かつ本年4月に施行された改正土壤汚染対策法による市場の混乱もあり、売上・利益とも計画及び前年実績を大きく下回る結果となりました。

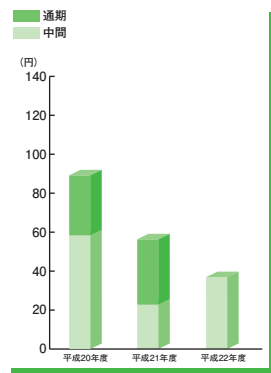
また、鉛リサイクル事業を行う株式会社ダイセキMCRにおきましては、引続き生産能力のほぼ100%の稼働状況が続きました。しかしながら、鉛の国際価格が第1四半期に比べ10%程度下落した影響を受け、売上・利益ともに第1四半期を下回る結果となり、かつ利益は前年実績を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結結果計期間の業績は、売上高15,016百万円（前年同四半期比12.4%増）、経常利益2,899百万円（同35.9%増）、四半期純利益1,664百万円（同60.2%増）と増収増益を確保いたしました。

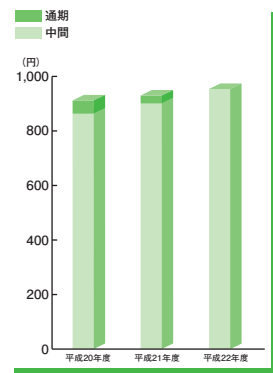
■ 純資産



■ 1株当たり四半期(当期) 純利益



■ 1株当たり純資産額



通期の見通し

第3四半期以降の国内経済につきましては、円高・株安等に見られるように景気の停滞感が広がってくるものと予想されます。しかしながら、前年同期と比較すると国内製造業の生産活動は高い水準にあり、当社としても産業廃棄物受注量の回復傾向が続くものと予想されます。さらに外部環境の改善のみならず積極的な営業展開により新規顧客獲得へも注力し、シェアアップによる成長を目指してまいります。また、業績が急速に落ち込んだ株式会社ダイセキ環境ソリューションにおきましても、当上半期を底とし、業績回復局面に入るものと予想されます。また株式会社ダイセキMCRにおいては、鉛価格も当第2四半期を底として、堅調に推移するものと予想され、当第2四半期累計期間に比べ業績は上昇するものと思われまます。さらに、第3四半期より、システム機工株式会社が連結子会社となり、グループの相乗効果も含め当社グループの業績への寄与が期待されます。

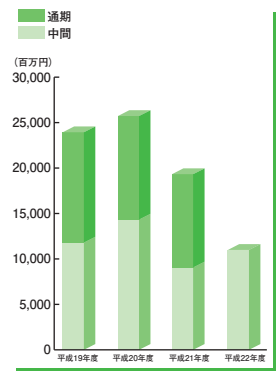
このため通期の業績につきましては、期首計画通り、売上高32,250百万円（前期比10.8%増）、営業利益5,580百万円（同14.6%増）、経常利益5,680百万円（同13.9%増）、当期純利益3,150百万円（同23.6%増）と予想しております。

平成22年11月

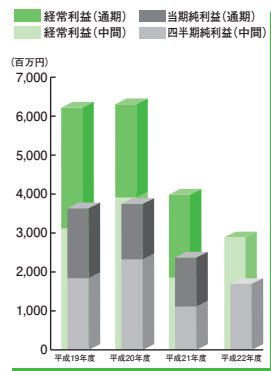
代表取締役社長 伊藤博之

個別

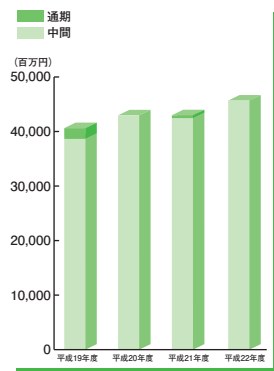
売上高



経常利益・四半期(当期)純利益



総資産



四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年8月31日現在)	前第2四半期 連結会計期間末 (平成21年8月31日現在)	科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年8月31日現在)	前第2四半期 連結会計期間末 (平成21年8月31日現在)
流動資産	26,370	23,447	流動負債	6,055	6,101
現金及び預金	19,094	16,038	支払手形及び買掛金	2,076	1,758
受取手形及び売掛金	5,737	5,247	短期借入金	856	1,276
たな卸資産	1,049	1,671	未払法人税等	1,315	1,017
繰延税金資産	219	198	賞与引当金	245	241
その他	284	303	その他	1,562	1,806
貸倒引当金	△ 15	△ 12	固定負債	1,334	1,469
固定資産	26,140	26,874	長期借入金	438	619
有形固定資産	16,031	17,303	退職給付引当金	664	635
建物及び構築物	4,487	4,764	役員退職慰勞引当金	224	206
機械装置及び運搬具	2,017	2,804	その他	7	8
土地	9,298	9,306	負債合計	7,389	7,571
建設仮勘定	108	279	純資産の部		
その他	118	149	株主資本	42,817	40,501
無形固定資産	1,522	1,721	資本金	6,382	6,382
のれん	1,231	1,426	資本剰余金	7,051	7,051
その他	291	295	利益剰余金	29,509	27,191
投資その他の資産	8,586	7,848	自己株式	△ 126	△ 123
投資有価証券	5,384	4,769	評価・換算差額等	152	174
繰延税金資産	580	523	その他有価証券評価差額金	152	174
その他	2,643	2,585	少数株主持分	2,150	2,073
貸倒引当金	△ 22	△ 29	純資産合計	45,120	42,750
資産合計	52,510	50,321	負債純資産合計	52,510	50,321

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

前第2四半期連結会計期間末

13,998百万円

当第2四半期連結会計期間末

15,554百万円

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで)
売 上 高	15,016	13,352
売 上 原 価	10,161	9,277
売 上 総 利 益	4,855	4,074
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,031	2,005
営 業 利 益	2,824	2,069
営 業 外 収 益	90	92
営 業 外 費 用	14	30
経 常 利 益	2,899	2,132
特 別 損 益	△ 10	△ 178
税金等調整前四半期純利益	2,889	1,954
法人税、住民税及び事業税	1,286	997
法 人 税 等 調 整 額	△ 66	△ 151
少 数 株 主 利 益	4	68
四 半 期 純 利 益	1,664	1,038

(注) 1株当たり四半期純利益

前第2四半期連結累計期間

23円05銭

当第2四半期連結累計期間

36円96銭

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,021	1,802
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 387	△ 3,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 563	△ 443
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	2,069	△ 2,407
現金及び現金同等物の期首残高	17,004	18,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,074	16,019

四半期財務諸表

■四半期貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	当第2四半期 会計期末 (平成22年8月31日現在)	前第2四半期 会計期末 (平成21年8月31日現在)	科 目	当第2四半期 会計期末 (平成22年8月31日現在)	前第2四半期 会計期末 (平成21年8月31日現在)
流動資産	22,873	18,964	流動負債	4,451	3,347
現金及び預金	17,900	14,882	支払手形	613	440
受取手形	987	745	買掛金	1,022	801
売掛金	3,398	2,789	未払法人税等	1,258	737
たな卸資産	297	272	未払消費税	109	43
繰延税金資産	190	152	賞与引当金	196	195
その他	112	132	設備支払手形	302	230
貸倒引当金	△ 12	△ 10	その他	948	897
固定資産	22,751	23,437	固定負債	809	775
有形固定資産	10,285	11,380	退職給付引当金	618	598
建物	1,524	1,657	役員退職慰労引当金	186	174
構築物	1,467	1,651	その他	5	3
機械及び装置	1,335	1,959	負債合計	5,261	4,123
土地	5,557	5,564	純 資 産 の 部		
その他の有形固定資産	400	547	株主資本	40,209	38,111
無形固定資産	277	286	資本金	6,382	6,382
投資その他の資産	12,188	11,770	資本剰余金	7,051	7,051
投資有価証券	5,070	4,625	利益剰余金	26,901	24,801
関係会社株式	4,291	4,291	自己株式	△ 126	△ 123
長期性預金	1,500	1,500	評価・換算差額等	154	167
繰延税金資産	435	401	その他有価証券評価差額金	154	167
その他	913	981	純資産合計	40,363	38,278
貸倒引当金	△ 22	△ 28	負債純資産合計	45,624	42,402
資産合計	45,624	42,402			

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

前第2四半期会計期末

12,361百万円

当第2四半期会計期末

13,587百万円

■ 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで)	前第2四半期累計期間 (平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで)
売 上 高	10,952	8,955
売 上 原 価	6,776	5,818
売 上 総 利 益	4,176	3,137
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,421	1,412
営 業 利 益	2,754	1,725
営 業 外 収 益	119	131
営 業 外 費 用	0	0
経 常 利 益	2,874	1,856
特 別 損 益	△ 9	0
税 引 前 四 半 期 純 利 益	2,864	1,856
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,233	723
法 人 税 等 調 整 額	△ 83	16
四 半 期 純 利 益	1,714	1,117

(注) 1株当たり四半期純利益

前第2四半期累計期間
当第2四半期累計期間

24円79銭
38円06銭

会社の概況 (平成22年8月31日現在)

- 商号 株式会社ダイセキ
- 設立 昭和33年10月1日
- 資本金 6,382,605,956円
- 本店所在地 名古屋市港区船見町1番地86
- 従業員数 492名
- 事業所

- 本社・名古屋事業所 名古屋市港区船見町1番地86
- 北陸事業所 石川県白山市相川新町631番地1
- 関西事業所 兵庫県明石市二見町南二見21番地6
- 九州事業所 北九州市若松区南二島4丁目13番3号
- 関東事業所 栃木県佐野市西浦町570番1
- 千葉事業所 千葉県袖ヶ浦市南袖23番8

顧客満足 (CS) を推進するために全国
6ヶ所の事業所・ネットワークで迅速
に対応します。



■役員

代表取締役社長	伊藤 博之	藤 秀之	博 之	取 締 役	江 越	且 明
代表取締役副社長	柱 山	本 哲	之 貴	取 締 役	宮 地	且 弘
専務取締役	山 本	本 哲	也 也	取 締 役	原 田	男 男
常務取締役	福 島	島 満	夫 夫	取 締 役	伊 藤	泰 泰
常務取締役	平 林	林 一	美 美	常 勤 監 査 役	久 保	田 稔
取 締 役	天 野	野 浩	二 一	監 査 役	鈴 木	雅 孝
取 締 役	稲 垣	垣 淳	一 一	監 査 役	坂 部	孝 夫

(注) 鈴木雅二、坂部孝夫の両氏は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

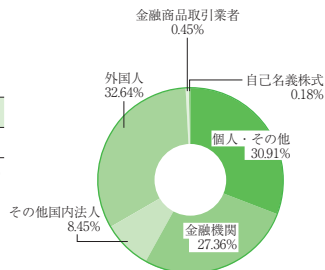
株式の状況 (平成22年8月31日現在)

■発行可能株式総数	79,200,000株
■発行済株式の総数	45,124,954株
■株主数	9,935名
■大株主	

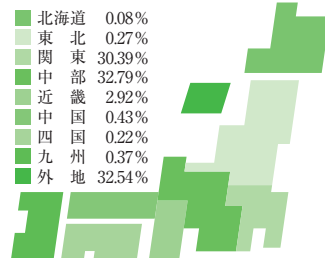
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,246千株	11.62 %
TAIYO FUND, L. P.	4,212	9.33
日本スタートラスト信託銀行株式会社	2,403	5.32
山本哲也	2,081	4.61
伊藤博之	2,015	4.46
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,324	2.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,323	2.93
ピクテアンドシーヨーロッパエスエー	1,282	2.84
伊藤喜代子 ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー)	1,193	2.64
サブアカウンタブリティッシュライアント	1,054	2.33

(注) 当社は、株式会社三菱東京UFJ銀行の持株会社である株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの株式51,000株（出資比率0.0%）を保有しております。
なお、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループへの出資比率には、議決権のない優先株式を除いて算出しております。

■所有者別持株構成

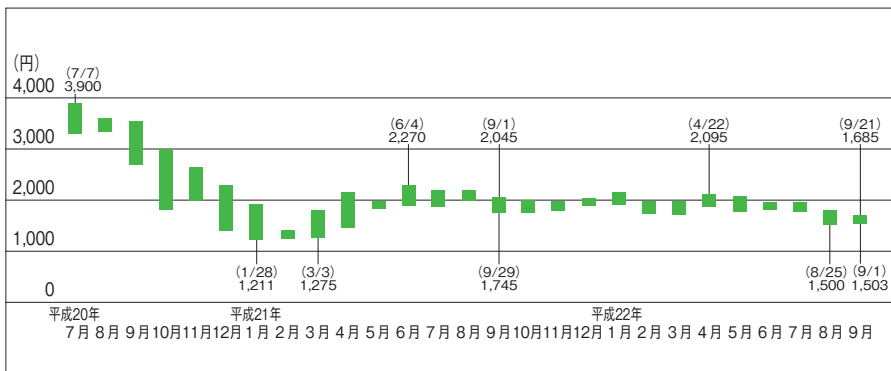


■地域別持株構成



(注) 保管振替機構名義株式、自己名義株式は含んでおりません。

■株価チャート



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金 受領株主確定日	2月末日
中間配当金 受領株主確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 (0120) 232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
単元株式数	100株
監査法人	有限責任監査法人トーマツ
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.daiseki.co.jp/IR/accounting.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)

(ご注意)

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒455-8505 名古屋市港区船見町1番地86
TEL(052)611-6322(代) FAX(052)612-4382
ホームページアドレス <http://www.daiseki.co.jp>

